

三浦市水道ビジョン（令和3年度～令和12年度）の実施状況について

（令和3年度決算における目標達成状況）

1 安全な水道水の供給に係る目標

実現方策	目標設定	内容	関連ページ	令和元年度 (策定時基準)	令和2年度 (前年度)	令和3年度 (計画1年目)				令和12年度 (最終年度)	
				実績	実績	実績	前年比	目標	達成状況	×の理由	目標
①残留塩素濃度の管理	(毎年) 平均残留塩素濃度0.40mg/L以下の達成	水道法では0.1mg/L以上と定められています。0.40mg/L以下であれば通常の方が塩素臭を気にならないとされています。策定時の県内平均は0.40mg/L以下です。	P16	0.44mg/L	0.53mg/L	0.48mg/L	↗	0.40mg/L以下	×	本市は横須賀市から水道水を100%受水しています。受水時点の残留塩素濃度は0.70mg/L程度を推移しており、皆様のご家庭に届く際にも、水道法の安全基準には十分に達している「安全な水道水」です。「おいしい水道水」を目指して高い目標設定をしましたが、「残留塩素濃度」を下げることは、横須賀市の浄水処理による水質管理にも影響するため、協議の結果、目標を「安全な水道水」の基準に見直す必要があると判断しています。そのため、今回は未達成となっています。	0.40mg/L以下

2 災害に強い強靱な水道に係る目標

実現方策	目標設定	内容	関連ページ	令和元年度 (策定時基準)	令和2年度 (前年度)	令和3年度 (計画1年目)				令和12年度 (最終年度)	
				実績	実績	実績	前年比	目標	達成状況	×の理由	目標
③老朽管更新に伴う管路の耐震化	(令和12年度) 管路の耐震管率54.5%以上	策定時の県内平均20%程度を大きく上回っていますが、引き続き計画的に耐震化を進めていきます。	P19	49.8%	49.9%	50.1%	↗	50.3%以上	×	計画では、水道管路の耐震化を進めるため、老朽化した「非耐震管」を「耐震管」に更新することを数値化しています。実施にあたり、令和3年度では、事前の漏水調査により老朽化した「耐震管」で漏水が疑われる管路を更新をしたことにより、未達成となっています。⑥の「有収率」及び⑦の「管路更新率」など併せ、状況に応じて更新してまいります。	54.5%以上
⑤重要給水施設管路の耐震化	(令和12年度) 重要給水施設管路の耐震適合率96.9%以上	需要給水施設に直結する管路を優先して耐震化を図ります。	P21、P60	95.5%	95.5%	95.5%	→	95.5%以上	○	—	96.9%以上

3 健全な水道事業経営の持続に係る目標

実現方策	目標設定	内容	関連ページ	令和元年度 (策定時基準)	令和2年度 (前年度)	令和3年度 (計画1年目)				令和12年度 (最終年度)	
				実績	実績	実績	前年比	目標	達成状況	×の理由	目標
⑥漏水調査と有収率の向上	(毎年) 有収率0.1%/年の向上	策定時、ほぼ、県内平均と同水準ですが引き続き率の向上を目指します。	P24	84.8%	84.6%	84.3%	↘	85.2%以上	×	老朽管の計画更新や、外部委託を含めた漏水調査による、疑われる箇所早期修繕、他事業者からの調査技術教授により有収率の向上に努めていますが、改善には至っていません。令和4年度からは、「所有者等が負担する修繕工事の対象箇所の一部」を、「水道事業費用負担の対象箇所に拡大する」ことで、迅速に漏水に対応できる体制としました。引き続き、あらゆる方面から「有収率の向上」を目指します。	86.0%以上
⑦優先度を考慮した老朽管の更新	(毎年) 管路更新率0.5%以上の継続	1%ペースで100年更新にかかりますが、最新の長寿命な材質の管を採用することで漏水事故等のリスクを抑えていきます。	P25	0.3%	0.3%	0.3%	→	0.3%以上	○	—	0.5%以上
⑨支出削減と定期的な料金見直し	(計画期間10カ年平均) 経常収支比率 {(営業収益+営業外収益/営業費用+営業外費用)×100}の改善	100%を下回ると経営が赤字状態です。策定時の県内の平均値は110%以上です。	P26	95.2%	105.2%	105.6%	↗	103.1%以上	○	—	計画期間10カ年平均で100%以上
⑩健全経営による事業の持続	(令和12年度) 給水収益に対する企業債残高の割合500%未満	県内平均は300%の中程です。人口減少時代を考慮し、事業費に対する企業債の充当率を抑えていくことが求められています。	P27	418.0%	401.5%	383.4%	↗	384.8%未満	○	—	500%未満
⑪独立採算性の発揮	(計画期間10カ年平均) 料金回収率 {(供給単価/給水原価)×100}の改善	供給単価＝1m ³ 当たりの売値、給水原価＝1m ³ 当たりの原価です。100%以下は原価割れを意味しています。	P29	81.4%	86.0%	84.7%	↘	82.4%以上	○	—	計画期間10カ年平均で90%以上
⑫安定的な財源確保	(令和12年度) 資金の確保	災害時対応のための財源確保をします。(給水収益の約2カ月分を確保します)	P79	0億円	0.7億円	0.4億円	↘	0億円以上	○	—	2億円以上

※三浦市水道ビジョンP69 「目標達成に向けての実施計画」の14項目(①～⑭)から、主なもの9項目を対象としました。実現方策の○数値は、ビジョンの○数値と一致します。

※前年比↗は好転、→は変化なし、↘は悪化を表しています。